

2023 年度 授業計画(シラバス)

| | | | | | |
|---------|----------------|-----------------|--------|-----------|---------------|
| 学 科 | 診療放射線技師学科(昼間部) | 科 目 区 分 | 専門基礎分野 | 授業の方法 | 講義 |
| 科 目 名 | 解剖生理学V | 必修/選択の別 | 必修 | 授業時数(単位数) | 45 (2) 時間(単位) |
| 対 象 学 年 | 3年次 | 学期及び曜時限 | 前期 | 教室名 | 第3校舎901教室 |
| 担 当 教 員 | 阿部 修司 | 実務経験と その関連資格 | | | |

《授業科目における学習内容》

解剖生理学では、診療放射線技師として医療にたずさわるために必要な生体の構造と機能、免疫システムについて学ぶ。特に重要と考えられる肉眼的解剖について、名称、形態、相互の位置関係等を習得する。解剖生理学Vでは、病変を含む画像解剖を理解する。

《成績評価の方法と基準》

筆記試験(70%)

出席点(20%)

平常点(10%)

《使用教材(教科書)及び参考図書》

教科書 「入門人体解剖学」 藤田恒夫 著 南江堂

参考書 「若葉マークの画像解剖学」 磯辺智範 編 MEDICAL VIEW

《授業外における学習方法》

シラバスに記載されている次の授業内容を確認し、使用教科書等を用いて事前学修(予習・復習)すること。

《履修に当たっての留意点》

解剖生理学は医療従事者にとって必須の科目であり、臨床医学を学ぶ上の土台となります。また国家試験でも、幅広い知識が問われます。授業のみでは理解は深まりませんので、積極的に予習・復習を行う習慣を身につけましょう。

| 授業の方法 | 内 容 | | 使用教材 | 授業以外での準備学習の具体的な内容 |
|-------------|-------------|------------------------------|-------------|--|
| 第1回 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 解剖生理についての習得状況を明らかにする。 | 教科書 配布資料 | プリントを配布するので、復習しておくこと。 講義で配布する資料のみではなく、教科書等を用いて理解を深めること。 |
| | 各コマにおける授業予定 | ガイダンス、解剖生理学復習 | | |
| 第2回 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 各種画像解剖(正常像)について説明できる。 | 教科書 配布資料 | プリントを配布するので、復習しておくこと。 講義で配布する資料のみではなく、教科書等を用いて理解を深めること。 |
| | 各コマにおける授業予定 | 画像解剖復習 | | |
| 第3回 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 胸部単純X線画像で描出される主な疾患について説明できる。 | 教科書 配布資料 | プリントを配布するので、復習しておくこと。 講義で配布する資料のみではなく、教科書等を用いて理解を深めること。 |
| | 各コマにおける授業予定 | 胸部単純X線症例画像① | | |
| 第4回 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 胸部単純X線画像で描出される主な疾患について説明できる。 | 教科書 配布資料 | プリントを配布するので、復習しておくこと。 講義で配布する資料のみではなく、教科書等を用いて理解を深めること。 |
| | 各コマにおける授業予定 | 胸部単純X線症例画像② | | |
| 第5回 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 胸部単純CT画像で描出される主な疾患について説明できる。 | 教科書 配布資料 | プリントを配布するので、復習しておくこと。 講義で配布する資料のみではなく、教科書等を用いて理解を深めること。 |
| | 各コマにおける授業予定 | 胸部単純CT症例画像 | | |

| 授業の方法 | 内 容 | | 使用教材 | 授業以外での準備学習の具体的な内容 |
|-------|------------------------------------|--------------------------------|-------------|--|
| 第6回 | 講義形式 授業を通じての到達目標 各コマにおける授業予定 | 胸部造影CT画像で描出される主な疾患について説明できる。 | 教科書 配布資料 | プリントを配布するので、復習しておくこと。 講義で配布する資料のみではなく、教科書等を用いて理解を深めること。 |
| | | 胸部造影CT症例画像 | | |
| 第7回 | 講義形式 授業を通じての到達目標 各コマにおける授業予定 | 腹部単純X線画像で描出される主な疾患について説明できる。 | 教科書 配布資料 | プリントを配布するので、復習しておくこと。 講義で配布する資料のみではなく、教科書等を用いて理解を深めること。 |
| | | 腹部単純X線症例画像① | | |
| 第8回 | 講義形式 授業を通じての到達目標 各コマにおける授業予定 | 腹部単純X線画像で描出される主な疾患について説明できる。 | 教科書 配布資料 | プリントを配布するので、復習しておくこと。 講義で配布する資料のみではなく、教科書等を用いて理解を深めること。 |
| | | 腹部単純X線症例画像② | | |
| 第9回 | 講義形式 授業を通じての到達目標 各コマにおける授業予定 | 腹部X線CT画像で描出される主な疾患について説明できる。 | 教科書 配布資料 | プリントを配布するので、復習しておくこと。 講義で配布する資料のみではなく、教科書等を用いて理解を深めること。 |
| | | 腹部X線CT症例画像① | | |
| 第10回 | 講義形式 授業を通じての到達目標 各コマにおける授業予定 | 腹部X線CT画像で描出される主な疾患について説明できる。 | 教科書 配布資料 | プリントを配布するので、復習しておくこと。 講義で配布する資料のみではなく、教科書等を用いて理解を深めること。 |
| | | 腹部X線CT症例画像② | | |
| 第11回 | 講義形式 授業を通じての到達目標 各コマにおける授業予定 | 腹部MRI画像で描出される主な疾患について説明できる。 | 教科書 配布資料 | プリントを配布するので、復習しておくこと。 講義で配布する資料のみではなく、教科書等を用いて理解を深めること。 |
| | | 腹部MRI症例画像① | | |
| 第12回 | 講義形式 授業を通じての到達目標 各コマにおける授業予定 | 腹部MRI画像で描出される主な疾患について説明できる。 | 教科書 配布資料 | プリントを配布するので、復習しておくこと。 講義で配布する資料のみではなく、教科書等を用いて理解を深めること。 |
| | | 腹部MRI症例画像② | | |
| 第13回 | 講義形式 授業を通じての到達目標 各コマにおける授業予定 | 骨盤領域MRI画像で描出される主な疾患について説明できる。 | 教科書 配布資料 | プリントを配布するので、復習しておくこと。 講義で配布する資料のみではなく、教科書等を用いて理解を深めること。 |
| | | 骨盤領域MRI症例画像① | | |
| 第14回 | 講義形式 授業を通じての到達目標 各コマにおける授業予定 | 骨盤領域MRI画像で描出される主な疾患について説明できる。 | 教科書 配布資料 | プリントを配布するので、復習しておくこと。 講義で配布する資料のみではなく、教科書等を用いて理解を深めること。 |
| | | 骨盤領域MRI症例画像② | | |
| 第15回 | 講義形式 授業を通じての到達目標 各コマにおける授業予定 | 各種検査で描出される心・大血管関連の疾患について説明できる。 | 教科書 配布資料 | プリントを配布するので、復習しておくこと。 講義で配布する資料のみではなく、教科書等を用いて理解を深めること。 |
| | | 大動脈CT-angiography症例画像 | | |

2023 年度 授業計画(シラバス)

| | | | | | |
|---------|----------------|-------------|--------|-----------|---------------|
| 学 科 | 診療放射線技師学科(昼間部) | 科 目 区 分 | 専門基礎分野 | 授業の方法 | 講義 |
| 科 目 名 | 解剖生理学V | 必修/選択の別 | 必修 | 授業時数(単位数) | 45 (2) 時間(単位) |
| 対 象 学 年 | 3年次 | 学期及び曜時限 | 前期 | 教室名 | 第3校舎901教室 |
| 担 当 教 員 | 阿部 修司 | 実務経験とその関連資格 | | | |

《授業科目における学習内容》

解剖生理学では、診療放射線技師として医療にたずさわるために必要な生体の構造と機能、免疫システムについて学ぶ。特に重要と考えられる肉眼的解剖について、名称、形態、相互の位置関係等を習得する。解剖生理学Vでは、病変を含む画像解剖を理解する。

《成績評価の方法と基準》

筆記試験(70%)

出席点(20%)

平常点(10%)

《使用教材(教科書)及び参考図書》

教科書 「入門人体解剖学」 藤田恒夫 著 南江堂

参考書 「若葉マークの画像解剖学」 磯辺智範 編 MEDICAL VIEW

《授業外における学習方法》

シラバスに記載されている次の授業内容を確認し、使用教科書等を用いて事前学修(予習・復習)すること。

《履修に当たっての留意点》

解剖生理学は医療従事者にとって必須の科目であり、臨床医学を学ぶ上での土台となります。また国家試験でも、幅広い知識が問われます。授業のみでは理解は深まりませんので、積極的に予習・復習を行う習慣を身につけましょう。

| 授業の方法 | 内 容 | | 使用教材 | 授業以外での準備学習の具体的な内容 |
|-------|-------------|--------------------------------|-------------|--|
| 第16回 | 授業を通じての到達目標 | 各種検査で描出される心・大血管関連の疾患について説明できる。 | 教科書 配布資料 | プリントを配布するので、復習しておくこと。 講義で配布する資料のみではなく、教科書等を用いて理解を深めること。 |
| | 各コマにおける授業予定 | 心カテーテル検査画像① | | |
| 第17回 | 授業を通じての到達目標 | 各種検査で描出される心・大血管関連の疾患について説明できる。 | 教科書 配布資料 | プリントを配布するので、復習しておくこと。 講義で配布する資料のみではなく、教科書等を用いて理解を深めること。 |
| | 各コマにおける授業予定 | 心カテーテル検査画像② | | |
| 第18回 | 授業を通じての到達目標 | 頭部単純X線画像で描出される主な疾患について説明できる。 | 教科書 配布資料 | プリントを配布するので、復習しておくこと。 講義で配布する資料のみではなく、教科書等を用いて理解を深めること。 |
| | 各コマにおける授業予定 | 頭部単純X線症例画像 | | |
| 第19回 | 授業を通じての到達目標 | 頭部X線CT画像で描出される主な疾患について説明できる。 | 教科書 配布資料 | プリントを配布するので、復習しておくこと。 講義で配布する資料のみではなく、教科書等を用いて理解を深めること。 |
| | 各コマにおける授業予定 | 頭部X線CT症例画像 | | |
| 第20回 | 授業を通じての到達目標 | 頭部MRI画像で描出される主な疾患について説明できる。 | 教科書 配布資料 | プリントを配布するので、復習しておくこと。 講義で配布する資料のみではなく、教科書等を用いて理解を深めること。 |
| | 各コマにおける授業予定 | 頭部MRI症例画像① | | |

| 授業の方法 | 内 容 | | 使用教材 | 授業以外での準備学習の具体的な内容 | |
|-------|----------------------------|---|---|-------------------|--|
| 第21回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 各コマにおける授業予定 | 頭部MRI画像で描出される主な疾患について説明できる。 頭部MRI症例画像② | 教科書 配布資料 | プリントを配布するので、復習しておくこと。 講義で配布する資料のみではなく、教科書等を用いて理解を深めること。 |
| | 授業を通じての到達目標 各コマにおける授業予定 | 脳アンギオ画像で描出される主な疾患について説明できる。 頭頸部領域血管造影症例画像① | | | |
| 第22回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 各コマにおける授業予定 | 脳アンギオ画像で描出される主な疾患について説明できる。 頭頸部領域血管造影症例画像② | 教科書 配布資料 | プリントを配布するので、復習しておくこと。 講義で配布する資料のみではなく、教科書等を用いて理解を深めること。 |
| | 授業を通じての到達目標 各コマにおける授業予定 | 頭頸部領域血管造影症例画像② | | | |
| 第23回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 各コマにおける授業予定 | 頭頸部領域血管造影症例画像② | 特になし | プリントを配布するので、復習しておくこと。 講義で配布する資料のみではなく、教科書等を用いて理解を深めること。 |
| | 授業を通じての到達目標 各コマにおける授業予定 | 頭頸部領域血管造影症例画像② | | | |